

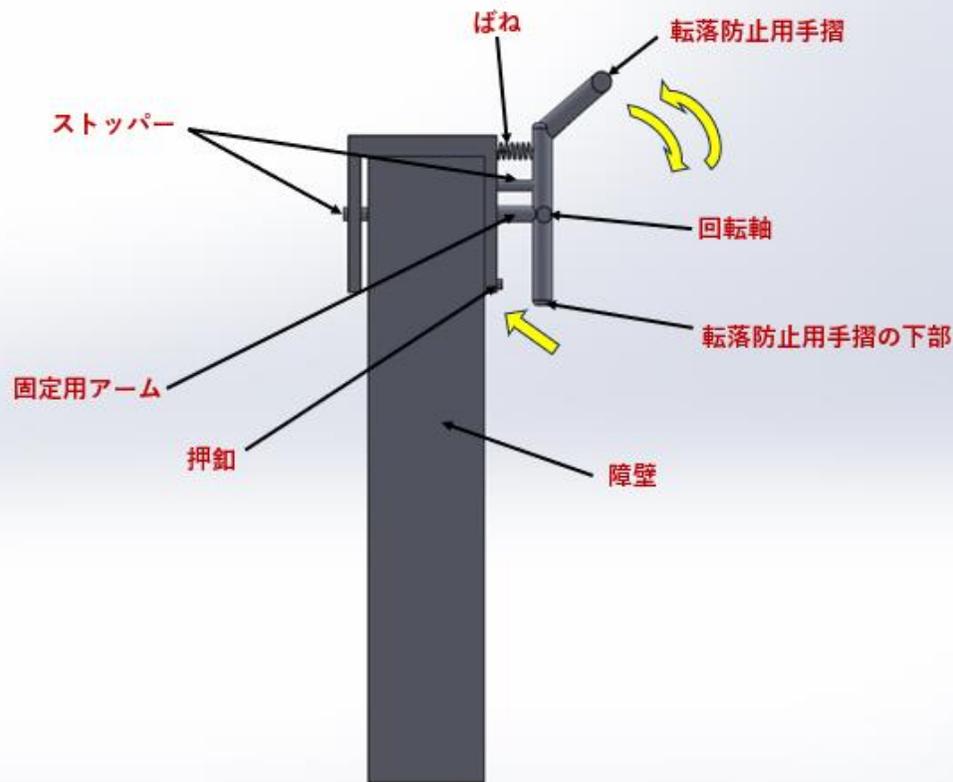
転落事故の原因  
→手摺に捕まり、前のめり  
になって転落

- ・ベランダにある障壁を簡単によじ登れないようにするにはどのような構造にすればよいか。
- ・危険を知らせる機能が付けられないか。

以上の課題を解決するため、**ベランダの転落防止用手摺**を発明した。

## 発明の構造

- ・ 転落防止用手摺を掴むと安全な方向(部屋側)に倒れ、手を離したら元に戻る仕組みになっている。
- ・ 安全性を確保するため転落防止用手摺が内側に深く倒れたら転落防止用手摺の下部が釦を押し、チャイムや通信機能で危険を知らせることができる。



ベランダの転落防止用手摺を側面から見た図

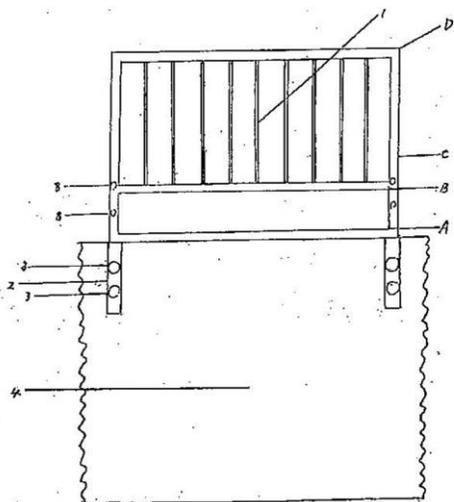
→ この構造から転落事故の確率を下げること期待できる。

作品名  
ベランダの転落防止用手摺

J-PlatPat(特許情報検索システム)で先行技術の調査を行った。

- ベランダ, 転落 … 27件
- ベランダ, 可動 … 58件
- ベランダ, 物干し … 234件

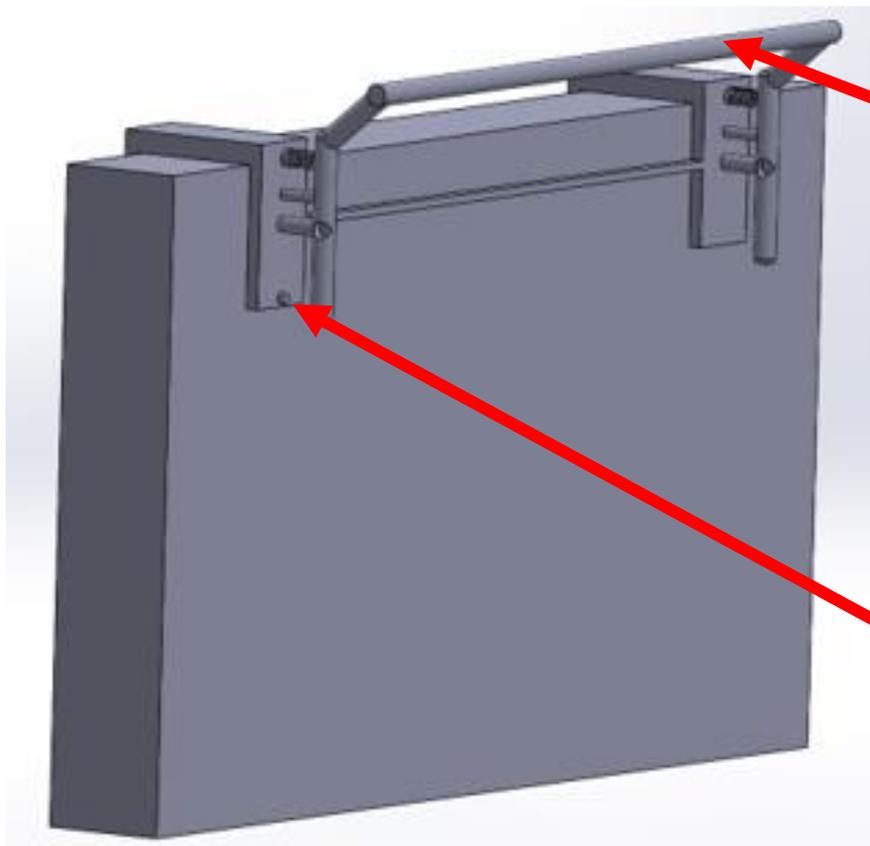
こちらのキーワードを入力し、計319件の中から私が発明したものに近い先行技術を参照し検討した。



特開平11-140970号

検討した結果、特開平11-140970号を紹介する。

**構造**：手摺部分が屈曲しており、子供が手摺を掴んでも乗り越えにくい構造になっている。  
**欠点**：転落を防ぐ柵のみの発明であり固定され可動しない。危険を知らせる警報システムは付加されていない。



ベランダの転落防止用手摺

手摺に登ろうとすると、部屋側に手摺が回転し、子供のベランダでの転落事故を防止できる。

部屋側に手摺が回転するとチャイムを鳴動させる構造であり、子供が転落の危機に直面したときに子供に注意喚起するとともに、家族等に音で知らせることができる。